

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

NO.28

厚岸町水道広報

2021
早春

特 集

令和元年度水道事業 決算と事業報告

●水道事業の現状

～料金改定から3年が経過して～



ホマカイ川取水場（鉄筋コンクリート造）

料金改定後、三度目の決算 推計見込を上回る 1,379 万円の利益

平成 29 年 4 月分から新たな水道料金が適用になり、三度目の決算。昨年度に比べ、家事用の使用水量はほぼ横ばいでしたが、産業活動が軟調で、業務用の使用水量が減少したことや、融雪期の水質悪化の影響で薬品の使用量が増えたことなどに伴い費用も増加し、利益は当初予算より若干下回ったが、料金改定時の推計を上回る 1,379 万円となりました。この利益は水道管更新などの工事に充てるため建設改良積立金に積み立てて使用します。

決算の概要

●業務の状況

元年度の給水人口は前年度に比べ 102 人(1.2%)減の 8,345 人、給水戸数は 15 戸(0.3%)増の 5,172 戸で、配水量は 1 万 6,321 立方メートル(1.3%)減の 126 万 3,683 立方メートル、有収水量は 1 万 7,853 立方メートル(2.0%)減の 89 万 966 立方メートル、有収率は 0.5 ポイント減の 70.5%となりました。(表 1)

●収益的収支の状況

収益(収入)は、前年度に比べ 1,094 万 9 千円(3.8%)減の 2 億 7,884 万 5 千円。使用水量は、前年度に比べ家事用でほぼ横ばい、業務用で 5.2%減、農業用で 2.2%減など、全体では 2.0%の減となりました。(表 3)

費用(支出)は、前年度に比べ

1,526 万 9 千円(6.1%)増の 2 億 6,504 万 8 千円で、人件費が 19.9%増の 2,267 万 6 千円、委託料が 31.8%増の 4,257 万 2 千円、修繕費が 5.5%増の 1,603 万 9 千円、動力費が 0.7%増の 1,708 万 5 千円、薬品費が 44.9%増の 1,538 万 7 千円、減価償却費が 2.8%減の 1 億 2,013 万 1 千円、支払利息が 7.2%減の 2,093 万 5 千円でした。

この結果、1,379 万 7 千円の純利益(黒字)となり、1,380 万円を建設改良積立金として積み立てた。(表 2)

●資本的収支の状況

収入は前年度に比べ 1,291 万 9 千円(59.1%)増の 3,814 万 6 千円で、主な収入の企業債が 59.1%増の 3,660 万円となりました。

支出は 3,764 万 5 千円(21.9%)増の 2 億 953 万 1 千円で、建設改良費が 38.3%増の 1 億 3,132 万 6 千円、企業債償還金が 1.7%増の 7,820 万 5 千円でした。

収支の不足額 1 億 7,138 万 5 千円は、過年度分と当年度分の損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、積立金の一部である建設改良積立金及び減債積立金で補填しました。

表 1 業務量

	単位	30年度	元年度
給水人口	人	8,447	8,345
給水戸数	戸	5,157	5,172
配水量	m ³	1,280,004	1,263,683
有収水量	m ³	908,819	890,966
有収率	%	71.0	70.5
一日平均配水量	m ³	3,506	3,452
一日最大配水量	m ³	4,435	4,604

表 2 損益計算書

(単位:千円、%、税抜)

	30年度	元年度	増減率
営業収益	255,585	250,521	▲ 2.0
営業費用	227,229	243,710	7.3
営業利益	28,356	6,811	▲ 76.0
営業外収益	32,033	28,324	▲ 11.6
営業外費用	22,550	21,338	▲ 5.4
経常利益(▲損失)	37,839	13,797	▲ 63.5
特別利益	2,176	0	皆減
特別損失	0	0	—
純利益(▲純損失)	40,015	13,797	▲ 65.5

表3 主な用途別の使用水量

(単位: m³, %)

	30年度	元年度	増減率	増減
家事用	529,354	529,481	0.0	127
業務用	332,963	315,675	△ 5.2	△ 17,288
農業用	43,604	42,628	△ 2.2	△ 976
合計	908,819	890,966	△ 2.0	△ 17,853

※合計には浴場営業用と臨時用を含む

※水道事業の決算は、地方公営企業法に基づき、複式簿記による損益計算書と貸借対照表で経営成績や財務状態を明らかにするほか、公営企業の特徴として、予算と同様、経営活動に関する「収益的収支」と投下資本の増減に関する「資本的収支」の二つの決算報告書を作成します。

表4 貸借対照表

(単位: 千円、税抜)

(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	1,933,023	固定負債	1,132,997
有形固定資産	1,877,717	企業債	1,126,963
土地・立木	120,297	引当金	6,034
建築物	8,858	流動負債	94,154
構築物	1,355,484	企業債	80,982
機械及び装置	355,564	未払金	10,710
車両および運搬具	353	引当金	1,521
工具器具及び備品	1,658	その他	941
建物附属設備	2,403	繰延収益	290,135
建設仮勘定	33,100	負債合計	1,517,286
無形固定資産	55,306		
電話加入権	108	(資本の部)	
庁舎利用権	55,198	資本金	453,016
流動資産	223,329	剰余金	186,050
現金預金	182,908	資本剰余金	24,550
未収金	34,382	利益剰余金	161,500
貯蔵品	6,039	資本合計	639,066
資産合計	2,156,352	負債資本合計	2,156,352

令和元年度に行った事業

●配水管等整備事業

道路改良に伴う配水管の耐震化などを進め、安定した水道水の供給を図りました。

◇配水管布設替工事 1件

口径50ミリメートル～75ミリメートル

延長185.10メートル 583万2千円

◇配水管新設工事 1件、

口径50ミリメートル～150ミリメートル

延長79.38メートル 1,078万円

●設備整備事業

浄水場等の老朽化した設備の更新を行いました。

◇宮園丘陵ポンプ場整備工事等 4件 3,651万3千円

●浄水場施設整備計画策定業務

水源を河川水から地下水へ変更を行うための可能性調査を行いました。

◇更新計画一式 709万5千円

●上水道配水管等更新実施設計委託業務

令和2年度上水道施設更新のための実施設計を行いました。

◇実施設計一式 946万円

●メーター設備事業

水道メーターの設置や有効期間が満了となるメーターの取替えを行いました。

◇新設60台、取替え648台、合計708台 6,116万3千円



宮園鉄北山通り配水管布設替工事



厚岸浄水場計測器整備工事



宮園丘陵ポンプ場整備工事

水道事業の現状 ～料金改定から3年が経過して～

水道料金は、平成29年度に、全体の料金水準を約5.6%引き上げし、水量料金において家事用、業務用、農業用の20m³までの料金を統一する改正が行われました。その算定期間は平成29年度から令和3年度まで、以後、5年毎に見直すこととしています。

水道課では、経営や施設の現状、前回の料金改定時に残された課題などを踏まえながら、令和4年度からの料金の見直し作業に取り掛かりました。

【経営の現状と見通し】

令和元年度までの実績では、料金改定時の計画値と比較して、業務用で計画を上回り、給水収益が増となりました。

また、支出では、職員の欠員による人件費の減や、平成29、30年度での冬の雪解けが穏やかであったことも影響し、施設の動力費と薬品費も削減できたことなどから、計画より大きく黒字経営を維持することがで

きました。

この間に生じた利益は、積立金に積み立て、事業費に対する借入を抑制するために積立金を取り崩しつつ、老朽化した施設の更新や配水管の耐震化計画の策定を進めてきました。

経費の縮減や職員数の削減は限界となっていますが、今後は、人口の減少などで収入は減り続け、老朽化した配水管の更新や浄水場更新の大型事業が控えており、積立金を取り崩しても、更に資金の確保が必要となっています。

【施設の現状と見通し】

総延長約150kmで町内を網羅している配水管は、耐用年数の40年を経過している管路が67.8km、全体の約42%を占めており、老朽化による漏水が発生し、経営に与える影響が年々大きくなっています。

配水管の更新は、重要幹線と位置付けた基幹管路約7.2kmを令和5年から14年にかけて

国の補助金等を活用して更新を行う計画をしています。

また、浄水施設は、昭和49年に厚岸浄水場を門静に建設し、建設から46年が経過。14年後には耐用年数の60年を迎えるため、水源の見直しを含めた浄水場の更新を検討しています。

【議会の付帯決議】

前回の料金改定に当たって、今後予測される老朽管の更新には最大限有利な補助金等を活用することや、今後町民に負担を増大させないよう、多額の老朽管対策等については、通常の経営とは別に一般会計などからの資金投入も検討すべきという2点の付帯決議を踏まえ、これらを含め見直し作業を進めます。



この広報誌は、ホームページでもご覧になることができます。

編集後記

▼昨年の秋から将来の水道事業の経営状況について検証作業を進めています。今後の給水収益は、人口に比例して減少が見込まれますが、これまでになかった新型コロナウイルスによる影響予測が担当者を悩ませています。（水野）

▼4月に危機対策室から異動し、水道課業務係に配属となりました瀬川卓也です。企業会計の担当となりましたが、はじめての経験のため覚えることも多く、まだまだ勉強中です。これからも日々の生活に欠かせない「水」に関わる業務に、一生懸命取り組んでいきます。（瀬川）

すいげん NO.28

2021年早春号（通巻64号）

令和3年3月1日発行

■発行／厚岸町

■編集／水道課

〒088-1192

厚岸町真栄3丁目1番地

TEL0153-52-3131

FAX0153-52-4284

E-mail／

suidou@akkeshi-town.jp